



外国出張報告書

平成 27 年 7 月 21 日

1. 出張国名 ラオス
2. 出張月 平成 27 年 6 月～7 月
3. 出張目的 ラオスにおける育成林業振興のための研究課題に関する現地検討ならびに課題案の協議検討
 : C
4. 成果の概要

ラオスにおける次期プロジェクト研究の課題化に向け、想定されるカウンターパート機関および関連する政府機関、JICA プロジェクト、現地林業企業等を訪問し、情報収集と整理を行った。今回調査したチーク林は多様であり、低位段丘面の平坦地やその上部斜面の林分で成長が良く、高位段丘面で成長は良くなかった。土壌はいずれもシルト～粘土質であり土性の違いは少なく、成長に対する影響は不明であった。

上述した関係機関や現地調査の結果、チーク林の適地判定と持続的管理手法の確立とする内容は現地のニーズもあり、主なカウンターパートとして想定される森林科学研究センターでも研究実施意向があることを最終的などりまとめ会議で確認し、今後ラオス側と意見調整を進めることとした。